

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立 川柳 中学校
(令和2年2月10日作成)

1 学校教育目標	
<p>【賢く】 ・「主体的・対話的で深い学び」に取り組み、未来を力強く切り拓く生徒 ・自分の思いや考えを伝えられ良識ある判断ができる生徒</p> <p>【優しく】 ・自他一人ひとりをかけがえのない存在として大切にし、正しい行動のとれる生徒 ・誰とでも協力して活動し、喜びを分かち合える生徒</p> <p>【逞しく】 ・共に磨き合い、課題や目標に挑戦し、あきらめない生徒 ・健康の保持増進と体力の向上に努め、安全な生活を心がける生徒</p>	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的、対話的で深い学び」の視点での授業改善と学習習慣の確立による学力の向上 ・生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成 ・幼保小中を一貫した教育の推進 	<p>成果 ○今年度も落ち着いた環境の中で授業が行われ、学校行事や部活動にも熱心に参加している。学校教育目標の【逞しく】について保護者・生徒とも評価が高く、何事にも意欲をもって取り組んでいる。</p> <p>課題 ●3学年の保護者は、面談等で来校回数は増えたが、必要な情報が分かりやすく伝わっていないと感じている。2年生の家庭学習の評価が低い。</p>

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等 	A	<p>○学校教育目標が教職員に周知され、目標を目指す教育活動が行われた。</p> <p>●企画委員会・職員会議等は円滑に行われたが、提案等の遅れを改善していく。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成 	A	<p>○研修主任を中心に、計画的な研修を実施することが出来た。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業が展開された。</p> <p>●来年度の本発表に向けた準備を進める。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用 	A	<p>○歯磨きの充実と虫歯予防の取組を継続した。</p> <p>○緊急事態発生時に、適切な対応を行った。</p> <p>●AEDの使用方法や救命措置に対して、今まで以上の実践的な研修等を行う。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 	A	<p>○職員一人ひとりが、個人情報の校内規定を遵守し、厳正な情報管理に努めている。</p> <p>○校舎の改修工事が進み、安全性の向上と危険個所の減少が進んだ。</p> <p>●雨漏り、トイレの詰りなど環境衛生の向上に努める。</p>
	⑤地域との連携開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会、学校評議員制度の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 	B	<p>○学級・学年・学校・保健・給食だよりの内容充実と、ホームページの更新に努めた。</p> <p>○連絡メールの登録内容を修正・更新して、学校行事や緊急災害時に活用した。</p> <p>●PTAとの一層の協力体制の確立を図る。</p>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じた教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	B	<p>○保育実習や学校行事を通して、園児・児童・生徒の交流を行った。</p> <p>●幼保小中一貫教育研修会の実施内容を、今まで以上に充実させる。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じた教育課程の編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての教職員が教育目標を意識した教育活動を行い、学年学級経営に生かした。 ○教育課程の実施状況確認を適宜行い、教育計画に基づき円滑な実施を図った。 ●新学習指導要領の施行に向け各教科・領域の年間指導計画の見直しを行い教育活動の充実を図る。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランのわかる授業の実践を行うとともに、「まとめ」「振り返り」に注力した授業を展開した。 ●2学年の家庭学習をよくしている生徒が、昨年度比較で13%減少している。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳主任を中心に年間計画を見直し、授業を行うことが出来た。 ○道徳の評価や教材の共有等の研修が行えた。 ●学年の道徳を時間割上に帯でとる方向を検討。
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 生徒会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体性を育み、学級活動や生徒会活動の充実、委員会活動の活性化を図った。 ○学年を超えたリーダー育成をねらい、リーダーガイダンスを実施した。 ●更に子どもたちの自主性・自己肯定感を育む活動に取り組んでいく。
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○行事との連携を図った取組が実践できた。 ●年間指導計画・目標設定と評価の在り方を検討し実施していく。
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、生徒理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会、教育相談委員会を中心に、問題点を全校単位で考え、解決を図った。 ○スクールカウンセラー・相談員との適切な連携を図り、不登校の解消に取り組んだ。 ●学年間の連携・協力を強め、学校全体の指導力を高めていく。
	⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 組織的なキャリア教育 指導方法の工夫と改善 啓発的経験の充実 進路情報の収集・活用 職場体験活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験・高校の先生を招いての進路学習会の実施など、3年間を見通した進路指導計画に基づいた指導が行われた。 ●生徒・保護者が望む、進路情報の収集と発信に努める。 ●多様化する進路に対する教職員の協力と指導力の向上に努める。
	⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修を実施し、特別な教育支援を必要とする生徒の指導に努めている。 ○交流教育が授業や行事において積極的に行われている。 ●特別支援教育の研修充実を図り、職員全体の理解と実践力を高める。

<p>⑨学校図書館教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 指導計画、支援計画の作成 ▪ 図書館補助員の活用 ▪ 諸機関との連携 ▪ 図書館の整備 ▪ 図書館利用の工夫 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書資料の充実や掲示物の工夫など読書環境の整備が着実に推進されている。 ○ 朝読書時の図書室利用を行い、図書と触れ合う機会を増やした。 ● 委員会活動をさらに充実させ、生徒の図書室利用と読書した本の冊数をさらに増やしていく。
<p>⑩情報教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教育計画の作成 ▪ 校内研修の充実 ▪ ICT機器の積極的な活用 ▪ 情報モラル教育の推進 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器、デジタル教科書等を活用する教員が増加し、授業の充実が図られている。 ● PCやスマートフォン等の使用における生徒たちの情報モラル教育の計画・推進を図る。 ● ICT機器を使用する教職員の増加に伴い、現行数の不足と調整の難しさ。
<p>⑪人権教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 全体計画の策定 ▪ 各教科との関連 ▪ 人権感覚の育成 ▪ 校内研修の充実 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権作文・人権標語・人権メッセージへの全校的な取組ができた。 ○ 夏季休業時の人権研修を実施できた。 ● CD・DVD視聴等の計画的な実施。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	① 幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究組織、計画、実施 ・ 小学校との交流、連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乗り入れ授業の実施、あいさつ運動、授業体験、運動会での交流種目の実施、合唱集会への参加など様々な形で交流を深めた。 ○ 幼保小中一貫教育について、夏季研修会を開催した。 ● 生徒・児童、教職員間の交流のみならず地域ぐるみの連携を強めていく。
	② 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究組織、計画 ・ 校内研修の推進 ・ 授業改善の取組 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上の研究組織を中心に3つの仮説（思考の活性化・振り返りの重視・思考の可視化）を立て、家庭学習についての工夫改善を行った。 ● 定期テストや学力学習状況調査の結果分析、復習問題等を更に学力向上に努める。
	③ 読書活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究組織、計画 ・ 学校司書との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある図書室の運営と貸し出し目標達成のための実践の相互作用が効果を発揮した。 ○ 読書活動の充実に向けた教職員の共通理解。 ● 読書ができない生徒、本を借りない生徒への対応の検討。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

本年度の学校評価は、保護者・生徒・学校評議員から高い評価を得ている。現在の川柳中学校の教育活動が、順調に行われているといえる。学校に対する保護者の希望は、①基礎的な学力 ②思考力・判断力 ③豊かな心・道徳性 であり、この願いの実現に向けて取り組んでいることへの理解があることが分かる。課題は、情報の発信と伝達方法、その周知である。昨年度との比較の中で3年生の保護者からの評価が低くなっている項目を挙げると ①特色ある教育活動(-6.2%)②情報の分かりやすさ(-4.5%) ③家庭や地域の理解(-4.4%) ④教育活動の積極的公開(-3.1%) である。また、2年生の保護者からは、「学校が安心して学べる場であるか」との評価が低くなっている。

生徒評価では、2年生の評価が多くの項目で昨年より下がっている。しかし、3年生の評価は多くの項目で伸びていることから、中学校生活に慣れて気持ちが緩んできているのではないかと考えることが出来る。特に、「家庭学習をよくしている」については1年時から2年時にかけての評価が-13.0%である。3年生は、同じ項目で2年時から3年時にかけて16.1%上がっている。この2年生の評価を引き上げる努力を続けて、学校全体の底上げを図っていかなければならない。

また、各学力学習状況調査結果は多くの教科で平均を下回っており、学習面での課題は多い。更に、不登校生徒数が増加傾向にあり、これも課題である。

6 次年度の改善策

研究委嘱を受けている「生きるカプラン」（2018年度～2020年度）の本発表がある。

『力強く未来を切り拓く生徒の育成』

～学校組織全体で進める授業づくりを通して～

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図る

発表に向けて、校内研修を充実させてお互いの授業改善を図りながら生徒の学習意欲を引き出し、学力向上の結果に結びつける。

幼保小中を一貫した教育についても引き続き取り組んでいく。内容をより効果的・効率的に行えるように検討しながら進めていく。

不登校生徒の対応については、担任・学年だけでなく、さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、その他の機関と協力して問題の解決に取り組む。

現在の川柳中学校は、生徒の学校生活は穏やかで落ち着いている。この雰囲気を維持しつつ、課題の解決に向けて、教職員、保護者や地域の方々と協力して、信頼される学校づくりを目指していく。